



2020年10月30日

各位

会社名 東ソー株式会社
 代表者名 代表取締役社長 山本 寿宣
 (コード番号 4042 東証第1部)
 問合せ先責任者 上席執行役員 経営管理室長 米澤 啓
 (TEL 03-5427-5123)

第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異 及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2020年8月3日に公表した2021年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、以下のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2021年3月期通期連結業績予想を以下のとおり修正することとしましたのでお知らせいたします。

1. 2021年3月期 第2四半期（累計）連結業績予想と実績の差異（2020年4月1日～2020年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A）	百万円 330,000	百万円 11,000	百万円 11,000	百万円 4,000	円 銭 12.37
実績値（B）	328,466	17,643	17,974	11,713	36.48
増減額（B－A）	△1,534	6,643	6,974	7,713	
増減率（％）	△0.5	60.4	63.4	192.8	
（ご参考）前期第2四半期実績 （2020年3月期第2四半期）	396,352	40,417	41,859	26,773	82.44

2. 2021年3月期 通期連結業績予想の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回修正予想（B）	700,000	60,000	61,000	38,000	118.84
増減額（B－A）	—	—	—	—	
増減率（％）	—	—	—	—	
（ご参考）前期実績 （2020年3月期）	786,083	81,658	85,963	55,550	171.03

3. 差異及び修正の理由

(第2四半期連結累計期間)

第2四半期連結累計期間の損益については、営業活動抑制に伴う発生固定費の減少及び棚卸資産低価法による評価減の縮小に加え、水処理事業においてプロジェクト案件でのコストダウン等の効果により利益率が改善したこと等により、前回予想を上回りました。

(通期)

当社が2020年8月3日に公表した「2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」においては、依然新型コロナウイルス感染症拡大による影響など不確定要素が多く合理的な算出が困難であったことから、通期業績予想の公表を見合わせておりました。現在もわが国を含め多くの国で感染拡大が続くなど依然収束の目途は立っておらず、当社グループへの影響も見通せない状況にありますが、当第2四半期での結果を踏まえ、現時点で入手可能な情報をもとに2021年3月期通期業績予想を公表するものです。

通期業績予想は、多くの製品において、コロナ禍で消失した需要が年度末にかけて緩やかな回復基調を維持することを前提としております。また、価格面については、上期において急落した海外製品市況が、中国をはじめとする海外経済の回復期待などにより、塩ビ・ウレタン製品などを中心に足元で上昇しており、下期においても一定の水準を維持すると見込んでおります。よって、通期では、上期での業績悪化の影響により、前年比で減収・減益となる見込みですが、下期は、塩ビ・ウレタン製品での交易条件の大幅な改善や幅広い製品での出荷増加などにより、上期比で増収・増益となる見込みです。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。従いまして、予測不可能な要素等により、実際の業績は現在予測している数値と異なる可能性があります。

以 上